2026.3.30

文責　山口 信雄

第３回中国地方ファシリティネットワーク交流会　報告

開催日時：2025 年 2 月 27 日（金）　13：30~17：15

開催場所：広島大学ミライクリエ 2F 大会議室

（機器見学　機器分析 J 棟、遺伝子実験棟、工学部 A4 棟）

参加者名：広島大学　研究担当理事（副学長）　宮崎誠一　教授

学術・社会連携室　学術・社会連携支援部研究支援グループ

太呉壮一　グループリーダー、末広太朗　副グループリーダー、

大門直清　主査、若林裕充　主査、護城恵昭　教育研究補助職員　他

自然科学研究開発支援センター　機器共用・分析部門

部門長　吉田拡人　教授、副部門長　池上浩司　教授

コアファシリティ推進室　室長　楯真一　教授

技術センター　副センター長　水田勉　教授

共通機器部門　※山口信雄　技術専門員（部門長)、柿村順一　技術専門職員、前田誠　技術専門職員、森原なぎさ　技術主任、鴫田好広　技術主任、網本智子　契約専門職員、彦坂知恵　教育研究補助職員、

工作部門　野口靖祐　技術専門員（部門長)、東郷徹宏　技術主任他

鳥取大学　技術部化学バイオ・生命部門　※松浦祥悟　技術専門職員（UTA）

山口大学　総合技術部情報技術課　※河本直哉　情報技術課長

岡山大学　総合技術部技術課　堀格郎　課長、　※中川良美　技術専門職員

（以上発表者及び現地参加)、オンライン参加 39 名　計 62 名

※は発表者（旅費支給）

プログラム　（13：30~16：00 は Zoom で配信）　発表 20 分、議論 10 分

13：30　施設見学（遺伝子実験棟、機器分析 J 棟、工学部 A4 棟）

14：30　開会挨拶（広島大学理事・副学長（研究担当）宮崎誠一　教授）

14：40　事務連絡

14：45　広島大学コアファシリティ組織の進展と技術職員の意欲向上のための取り組み

（広島大学技術センター・コアファシリティ推進室　山口信雄　技術専門員）

15：15　鳥取大学技術部が模索する『つながり』構築

～ネットワークづくりと研究基盤共創に向けて～」

（鳥取大学技術部化学バイオ・生命部門　松浦祥悟　技術専門職員）

15：45　岡山大学総合技術部のとある技術職員の 1 週間
（岡山大学総合技術部教育支援技術課 中川良美 技術専門職員）
16：15　分析×情報の異分野マネジメントと TC カレッジを通じた高度技術人材の育成
（山口大学総合技術部情報技術課 河本直哉 情報技術課長）
16：45　意見交換（フリートーク）
17：00　閉会挨拶（広島大学コアファシリティ推進室長 楯真一 教授）
18：00　意見交換会（ミライクリエ 1F 多目的スペース）

発表 20 分、議論 10 分
※14：30~17：00 は Teams で配信

内容

広島大学の宮崎理事からの開会挨拶を頂いた後、広島大学、鳥取大学、岡山大学、山口大学の各技術部における組織体制や業務内容について発表が行われ、それをもとに質疑応答がなされた。広島大学からは山口技術専門員が技術センターおよび N-BARD の改組と技術職員向けインセンティブ制度（案）による待遇改善案を紹介した。鳥取大学からは松浦祥悟技術専門職員による鳥取大学技術部における人材、装置の集約化と各種技術ネットワークへの参加状況、新規採用者への幅広いガイダンスについての報告が行われ、岡山大学からは中川良美技術専門職員による組織の紹介と実際の技術職員の現場における働き方として、多様な業務（電子顕微鏡、NMR、実習補助、事務）を兼任・実施する様子が報告された。山口大学からは技術職員共通課題の定義や、分野が異なる人材に対するマネジメント（評価方法・協働体制構築）や、山口大学がサテライト校として協力している TC カレッジにおける情報系コースでの活動状況などが報告された。

フリーディスカッションでは装置安定稼働のためにどのようにバックアップ体制を構築している（すべき）かや、各大学におけるマネジメント、待遇改善についての議論がなされ、それらに対する中国地方 FN の役割についても討論された。

最後にコアファシリティ推進室長楯先生からの閉会の挨拶を頂き、引き続きミライクリエ 1F 交流スペースにおいて意見交換を行った。



